

NEWS LETTER



NO.37 2010.12.15

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本
〒658-0003 神戸市東灘区本山中町 4-18-22

☎078-453-5931

http://www.geocities.jp/nihongohiroba_okamoto/

日本語ボランティア 出会いのお手伝い

皆さんは、どうして「日本語ボランティア」になられたのでしょうか？

私が学生の頃のボランティアというと、お金と暇のある人がする慈善行為と思われていました。今ボランティアをしている皆さんの意識はどうなのでしょうか。ボランティアとは何か、と言う質問にはなかなか答えられないかもしれません。では、なぜ日本語ボランティアを選んだかという個人的な質問には、それぞれの答えがあると思います。

海外居住経験から、大学で教科として日本語教育を勉強中、英語能力を生かしたい、外国人の人と接したい、自分の経験をいかしたい、と一人ひとり違うでしょう。

私の場合は、日本に来た人に良い印象を持ってもらいたいという気持ちからです。カナダで、そこに生活する外国人に対するカナダ政府の無料英語教室のシステムを見たせいもあります。7年前に日本語教師養成講座を受講して以来、いろいろな仕事をしてきましたが、この「にほんごひろば岡本」のボランティアはずっと続けています。

最初にひろばの見学に来た時、佐古田さんという女性との出会いがありました。彼女は、「日本語学校でクラスティーチングもしたことがあるけれど、ボランティアでマンツーマンで教えることが好きです。相手との相性の良し悪しはあるけれど、人との出会いがあり、人と人のコミュニケーションは本当に楽しい」と話してくれました。今コーディネーターをしているのも、彼女の言葉のせいかもしれません。人と人の出会いのお手伝いをしたいと思っています。

日本語学校のクラスティーチングとは異なり、ボランティアの学習はペースも方法も相手のニーズに合わせた、カスタマイズされたものです。また、ボランティアグループに来



る学習者の家庭・経済環境は様々で、そのことを考えると、日本語教育の能力も重要ですが、学習者が何を希望しているのか、何が必要なのかを理解する「人としての能力」も大事です。日本語学習の面だけではなく、話し相手として必要とされたり、生活面のアドバイスをしたり、将来の相談にのったり、と経験が必要とされる場面もたくさんあります。日本語を教える場面での問題は、学習することで解決できます。相手の人を理解しようとする気持ち、人との出会いを楽しむ気持ち、それは忘れてはいけないと思っています。

先日日本語ボランティアへのきっかけなどのアンケートをしたのですが、ボランティアをしていて良かったと思う事は?と言う質問に、生きがい、いろいろな世界の仲間ができた、いろいろな考えいろいろな人がいておもしろい、新しい発見がある、という答えをもらいました。

ひょっとして、ボランティアって自分のためにしているのかもしれません。日本語を教える能力を磨きつつ、新しい出会いを楽しんでください。 (小澤恭子)

学習者自己紹介

☆吳 安教(オ アンギョ)君 韓国出身

明石焼き めっちゃ美味しいです

こんにちは。私は吳安教と申します。

私は神戸大学の法学部の交換留学生です。今は日本の生活について慣れましたが、初めて日本に来た頃はいろいろなことにびっくりしました。

まず、バスや電車は韓国より2倍ぐらい高いしタクシーは非常に高かったです。やっぱり日本は韓国と

比べ物価が高いなあと思いました。

食べ物はほとんど甘くてちょっと口に合わなかったんですけど、今はすべてめっちゃ美味しいです。特に、この前倉本先生と牧田さんと一緒に明石に行って食べた明石焼きが美味しかったです。普通、明石焼きは「だし汁」につけて食べると聞きましたが、そのまま食べても外はカリ!中はトロッとして美味しかったです。

そして、夏休みは韓国人留学生たちと一緒に富士山に行ってきました。頂上まで上がる道はかなり大変だったけど頂上に到着すると足下に開かれる景色

が本当に美しかったです。

一方、ひろばに通いながら私の日本語のレベルがとても上がったと感じます。倉本先生と牧田さんが親切に教えてくれて初めの頃より会話をすることにあたってはずいぶん上手に返せるようになりました。

今後ともずっと日本語を勉強するつもりです。

私は日本でいろいろ勉強し帰国して弁護士になるのが目標です。日本へ来て良い人々にもたくさん会って面白い経験



もして本当に楽しい時間を過ごしています。ありがとうございます。

(写真は左から呉くん・倉本さん・牧田さん)

支援者自己紹介

★牧田知穂美さん

異文化交流 楽しいです

こんにちは。私は7月からひろばに通っている神戸松蔭の牧田です。

来年の3月には大学を卒業し、卒業後はオーストラリアのアデレードというところへ日本語教師のアシスタントとしておよそ半年間行く予定です。

私が担当している学習者は神戸大学の韓国からの交換留学生の呉安教さんです。私が担当しているというか、倉本さんと呉さんのグループに混ぜてもらっています。

いつも倉本さんから「厳しく」ご指導していただき、なんていうのは嘘で毎週楽しく韓国のドラマの話や文化の話、普段の生活の話などをしています。

呉さんが話す韓国事情と、ドラマから覚えた倉本さんの韓国語には毎週驚かされています。私が一番驚いたのは、韓国での食事の席での話です。先生や先輩などがいる場合は横を向き隠して飲んだり食べたりするというのを聞いてビックリしました。日本人が世界で一番礼儀正しいと思っていた私にとって初めて負けたと思える国が出てきました。また、日本にある韓国料理はおいしくないという衝撃の事実や日本のキムチは甘い(私は一度もそう感じたことはないですが)などなど、驚いたことはたくさんあります。

私が日本語教育に興味を持ち始めたのは高校時代にアメリカに行った時からです。

日本のことのみんなに教えよう!という時に何も教えることができず、折り紙も鶴しか折ることができず、未だにそうですが…

大学に入り副専攻で日本語教育を専攻し、にほんごひろばへは私と同郷(鳥取県米子市)の下田先生

から紹介していただきました。みなさんとお話しできるのは残りわずかですが、よろしくお願ひ致します。

(牧田さんの写真は前ページ右です)

★稻田 朋さん

悩む時間があるのなら

はじめまして、神戸女学院大学英文学科に在籍中の稻田朋です。

今年の10月からパートナーの福田さんと一緒に韓国出身の李 炫真(ヒュンジン)くんの日本語支援をしています。

私は去年の4月から1年間、イギリスの大学に留



学していた時、友人の紹介でもともと興味のあった日本語教師資格養成講座に半年間通いました。

現地の大学の授業と日本語の授業の課題との両立は想像以上に大変でしたが、なんとか無事終えて帰国することができました。

それから、日本で就職先も決まり、何か始めたいと思っていた時、大学の掲示板でこのボランティアの募集があったことを思い出しました。残りの大学生活の過ごし方と将来の事で少し悩んでいた時期に、水谷修さんの「悩む時間があるのなら人のために何かをする」という言葉に背中を押されて、ひろばに電話をしました。

今はまだ未熟で教えることの難しさを痛感するばかりですが、毎回の授業はとても楽しいです。

イギリスで学んできたことが生かせる場所を見つ

けられた事や一つ一つの出会いに感謝しながら、楽しく学んでいけたらいいなと思います。

今後ともよろしくお願ひいたします。

(写真左から福田さん・稻田さん・李くん)

★久本五十鈴さん

共に学ぶことを実感しています

本年2月よりにほんごひろば岡本で毎週水曜日の午後、日本語支援者としてタイ人女性(シリポーンさん)と向き合って活動しています。

昨年9月末で会社を退職し、時間の余裕が出来たことと、我が家から近く徒歩で通えるので、お仲間に加えていただくことになりました。

私が仕事上必要に迫られ、専門学校へ入学し1年間日本語教師の勉強をしたのは随分前のことになりますが、その時、様々な国の留学生とも接する機会がありました。

教えることは教わることであるという姿勢即ち共に学ぶということを日々実感しています。



週一回のレッスンでは充分であるとは言えませんが、日常生活で日本語を話す機会があまりない方々が多いように見受けられますので、言語のみならず文化、歴史等など、何か一つでも興味持てる分野が見つかれば(望ましい)と思います。自ら積極的に学習を進めていただけるべく微力ではありますが、少しでも手助けになればと願っています。

祖国を遠く離れて異国之地で働きながらですから、さぞかしご苦労も多いことと推察されますが、継続は

力なりと申します。共に手を携えて一步一歩前進しようではありませんか。

今後とも何卒宜しくお願ひ申し上げます。

★蛭谷安紀子さん

焦らず一緒に一歩ずつ前進



はじめまして。6月からお世話になっている、神戸松蔭女子学院大学3年の蛭谷安紀子(ひるたにあきこ)です。

出身は富山県なので、自分ではわかりませんでしたが、神戸に住んで3年になる今でもどうやら関西方言混じりの富山弁を話しているようです(笑)。

学校では主専攻として社会言語学の方言を、副専攻として日本語教育学を学んでいます。せっかく日本語教育を勉強しているのだし、少しでも日本語を勉強している人の力になりたいと思い、友人にひろばを紹介してもらいました。

ひろばは学習者の方、支援者の方共に気軽に話しかけてくださる方ばかりで、毎週参加するのがとても楽しみです。

しかし、学習者の力になるどころか、まだまだ一緒に学ぶことや教えてもらうことばかりです。ですが、私も学習者の方と一緒に焦らず一歩一歩前進していきたいと思っています。

どうぞこれからもよろしくお願ひいたします。

(写真は安楽先輩(左)と蛭谷さん)

学習者紹介

★吉松明子さん シンガポール出身

きれいな日本語を目指します

ポポちゃんこと吉松明子さんを紹介します。彼女はシンガポール出身の中国人です。日本人のご主人と結婚され、来日し、神戸に住んでもう40年が過ぎたそうです。今は家族も増え、友人もたくさんてきて、ハッピーな日々を送られています。

振り返ってみれば、様々な出来事が思い出されるけれど、「すべて前向きに受け止め、『なるようになる精神』で生きてきました」と話される笑顔がとても印象的です。



一番大変だったのは「日本語」だったそうです。頼られるのはご主人とその家族ですが、出張の多いご主人からは勉強ができず、テレビが一番の先生だったようです。

子育てしながらの勉強は本当に大変で、家族はほとんど吉松さんの日本語を正しく直してくれなかつたそうです。

買い物に行って品物の名前を覚えたり、ご近所の人たちの会話から言葉を覚え、徐々に会話も上手にできるようになった時はとても嬉しかったそうです。

遠く離れた日本に住んでホームシックにならなかつたのは、ご主人のお母さんがとてもやさし

く、温かい人で、実の娘のようにいつも気をかけてくれたおかげだと。ある時、そっとヘソクリの場所まで教えてくれたそうです。

やさしい家族や多くの友人を「人生の宝物」と感じているのは、吉松さんのお人柄がよい出会いを導いたからだと思います。

とても流暢に日本語を話すの彼女がなぜ、ひろばに？ その答えは「孫が保育園に通い始めた時、その話し言葉が気になり、自分の話す日本語とどこか違うことに気づき、今直したいと思いました」

「美しい」日本語が話したいからのようです。

少しでもお役にたてるよう、お手伝いしたいと思います。

吉松さん、「きれいな日本語になったね」と言ってもらえる日を目指して頑張りましょう！（坂本喬子）

★崔 聖河（チェ ソンハ）さん 韓国出身

うどん大好きパワフルママ

崔さんは、中学生と小学生の二人の男の子のママです。

今年の二月からのお付き合いになります。「崔さんて、どんな人ですか？」と聞かれたら、「やさしくて、パワフルで、いつも家族の事を考えている人です」と答えます。本当にパワフルで、積極的で、何もしない時間などないので、と思えます。



日本語の勉強は週三回、週に二回はジムに通つてトレーニングし、毎週日曜日には教会に行き、日本文化の勉強も忘れていません。スケジュール帳には予定がいっぱい！

私と日本語を勉強している時も、身を乗り出すようにして、色々と質問されます。日本の「うどん」が大好きで、「あのおいしいだし汁は、どうやって作るんでしょうか？」とたずねられます（私も知りたいです）。

この間は、日本と韓国の若者の話になりました。「最近の日本の若い人は、外国で勉強しようとしないのですか？韓国の若い人は、外国留学にどんどん出て行きますよ」と崔さんは言います。確かに今の日

本の若者は、消極的でおとなしい感じがしますね。

私にも大学生の娘がいますが、就活で精一杯、夢や希望はどこかにいってしまいました。実際、海外留学生数は減っているそうです。（日本の将来はどうなるのでしょうか？）

食べものから現代社会の比較まで、色々な方向に話が広がりながら、一生懸命日本語を勉強している崔さんと私です。

（小澤恭子）

みんなのひろば

【ひろば お助け隊のミニ講習会に参加して】

福田 梨奈

はじめまして。私はヒューマンアカデミーで日本語教師養成講座を受講している福田と申します。ヒューマンアカデミーに貼ってある掲示板を拝見し、「にほんごひろば岡本」を知りました。

8月の末から見学させて頂き、様々な国や世代の学習者が一生懸命日本語を勉強しようとしている姿や、それに対して支援者の方々が彼らの気持ちに答えようとする姿に「私も少しでもお手伝いが出来たら…」といつも感じており、とても勉強にな



ひと通り読ませてから練習問題で語彙を変えて練習させるなど、具体的なことも教えて頂きました。

学習者に動詞を教える際、助詞をつけて教えるなど、実際に教えていらっしゃる方ならではのお話も聞けたのでとても参考になりました。



ります。

初級テキストの講習会で、「みんなのにほんご」のテキストの使い方、教え方、予習の仕方、学習者に教える時の注意事項などを小澤恭子さんに教えて頂きました。

予習をする際、教え方の手引きや対訳本の熟読やその単元によって語彙を考え、教えるには文型を

講習会を受けるまでは、実際教えることに対して不安が大きかったのですが、「いつでも相談してください」と言ってくださったので、少し気持ちが楽になりました。実際教えてみないとわからないこともたくさんありますが、講習会で勉強したことを今後生かしていきたいです。

【2010年度・ステップアップ講座】

今年度のステップアップ講座を、11月6日から27日までの土曜日、4回実施しました。

延べ40人の参加があり、ボランティア支援の役割から実際の指導方法、さらには新しくなった日本語能力試験対策の指導方法など多岐にわたり行なわれました。

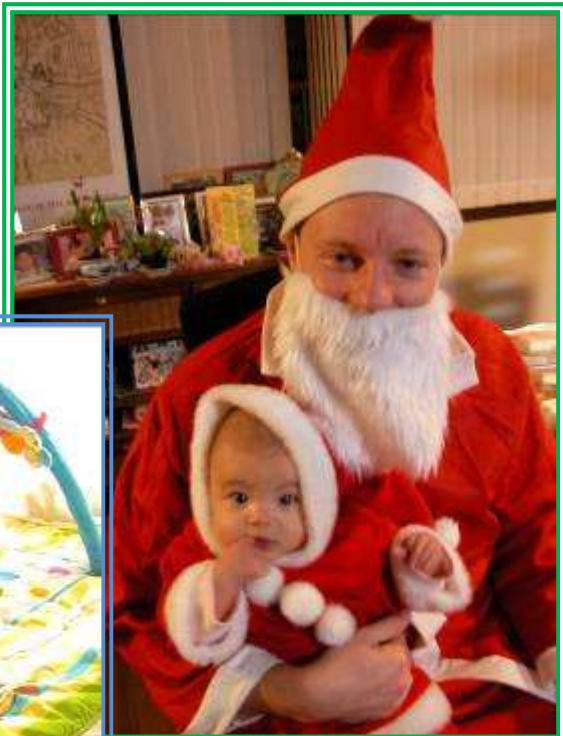
最終回の11月27日は参加者の交流会も行ない、今後の講座のあり方など、意見を交換しました。

講師をして下さった三木知津子さん、ありがとうございました。お疲れさまでした。



【祝 ウィル 二世誕生！】

NEWS LETTERのNo.33でご紹介しました、ウィル・マーカンドさんと久美さんご夫妻に、8月6日、3536グラムの可愛い女の子が誕生しました。名前はクレア(Claire) 美櫻(Mira) 武岡(Takeoka)ちゃんです。おめでとうございました。



【BBQ】

今年のBBQは天候悪化が予想されたので、中止になりました。来春に「お花見BBQ」をするかもしれません。お楽しみに。

(写真はBBQ打ち合わせ風景。残念！)



CONTENTS

★卷頭言

日本語ボランティア（小澤恭子さん）…………1

★学習者自己紹介

吳 安教くん…………2

★支援者紹介

牧田知穂美さん・稻田朋さん…………3

久本五十鈴さん・蛭谷安紀子さん…………4

★学習者紹介

吉松明子さん・崔 聖河さん…………5

★みんなのひろば

お助け隊ミニ講習会 初級テキストの使い方講習会に参加して（福田梨奈さん）…………6

2010年度ステップアップ講座 ……………7

ウィルさんに赤ちゃん誕生 ……………7

☆お知らせ 今年の後半、ひろばには学生ボランティアさんが増えました。名前と顔が一致しないぐらいです。男性2名、女性たくさん。若い人が参加してくれて、ひろばの男性陣はとても嬉しそうですよ。次号からぞくぞく登場します。ご期待ください。

〔編集子のつぶやき〕

今年最後のNEWS LETTERです。お世話になりました。来年も、よろしくお願ひします。原稿催促されている方、はやくクダサイ！（M.I）

